

創業実現に向けて支援

くしろ地域創業スクール

9月18日より開講



18日に行われたスクール

当所主催の「令和7年度くしろ地域創業スクール」が9月18日(木)に開講した。

本スクールは、創路での創業を目指す人などを対象に、11月6日(木)まで全9回にわたって実施される。

はじめに、澄川氏が「起業は究極の自己実現」と題して講演。同業他社との差別化や事業継続を軸にした体制づくりの重要性について説明。「地道に取組んでいくことで、それが自身の将来のためになる」と述べた。

地域での支援機関や専門家を講師に迎え、創業に必要な準備や経営に関する基礎知識、ビジネスプランの作成について座学やグループワークを通じて学ぶ。

初回には、創路市ビジネスサポーターセンター・I Bizの澄川誠治センター長、本スクールの卒業生である病児保育施設スクラムの高橋祥子氏、ファーストコンサルティング(株)代表取締役で中小企業診断士の栗山徹氏の3人による講演が行われた。

最後に、本スクールのメイン講師を務める栗山氏がスクール全体の流れについて説明。「地道に取組んでいくことで、それが自身の将来のためになる」と述べた。

「防災対策とBCP入門セミナー」を9月24日(水)午後3時より道東経済センタービルとオンラインで開催し、36人が出席した。

今回は、近年各地で自然災害が頻発し、中小企業にとって有事への備えが重要性を増していることから、(一社)REVIEW JAPANの野口正人代表理事を講師に、防災・減災の基本やBCP(事業継続計画)策定のポイントを解説した。

野口氏は冒頭「企業は地域社会において従業員、生活を支える重要な存在に相対しな

「130万円の壁」「106万円の壁」について、制度の概要から税金や社会保険との関連を整理し、企業が講じるべき具体的な対策までを実務に則してわかりやすく解説します。

「年収の壁」セミナー
日時 11月12日(水)13:30~15:30
※個別相談会 15:30~16:00 2組限定(先着順)
会場 道東経済センタービル 5階 会議室
定員 30人(先着順)
講師 社会保険労務士法人 湘南経営パートナーズ 代表社員 石井 隆介氏
内容 ・2025年改正で変わる? 年収の壁の基本と最新動向
・特定親族特別控除など新制度のポイントの徹底解説
・「働き控え」への対応とパート戦力化のヒント
・賃上げと手取りアップを両立させる業務の見直し方法

お問合せ: 地域振興部0154-41-4143



2号議員選任のため開かれた部会総会(写真は運輸交通部)

【選任された2号議員】
(総会開催順)
▽水産部会 (株)マルサ徳谷商店
▽運輸交通部 (株)物流自動車 太平洋運輸(株)
▽工礦部会 菱ノスチール本鉄工(株)、創路コールドマイン(株) 太太平洋製作所
▽建設部会 (株)建設 白崎建設(株) 宮崎建設(株) 坂野建設(株) 村井建設(株) 徳濱谷建設、創路三ツ輪商會

【選任された2号議員】
(総会開催順)
▽商業部会 丸中創路中央青果(株)、(株)五明、(株)サトービル、(株)リイアブル、(株)阿部新聞店、(株)創路スズキ販売
▽理財部会 創路信用組合、(株)北海道銀行創路支店
▽観光サービス部会 (株)浅川商會(株)恵和商事 福酒造(株)、(株)三ツ星レストランシステム、北海道電力ネットワーク(株)創路支店、(株)創路第一経営センター
▽商事部会 (株)三ツ輪商會

建設部会(坂野孝孝部会長)では、8日(水)午後3時より創路市役所にて、創路市に対して公共事業の確保と発注に関する要望を行った。

本要望は、社会インフラの維持・整備、住宅やビルの建設など、社会活動や豊かな市民生活を支えるまちづくりの根幹を担う建設業界の安定した経営維持を目的として例年実施している。

市長と創路市議会の畑中優周議長、市幹部職員、当部会の正副部会長ら約30人が参加した。

はじめに、坂野部会長より鶴間市長、畑中議長へ要望書を手交。坂野部会長は、国や道に対する公共事業の確保や地元企業への優先発注などの取り組みに感謝を述べ「今後さらなる支援をいただきたい」とあいさつした。

続いて、濱谷美津男副部会長より「東港区の整備促進及び作業船の泊地確保に向けた整備促進」「森林環境譲与税活用に向けた体制強化並びに地域の森林資源の循環利用」「建築確認審査における円滑な審査と早期承認」など新規項目9件を含む要望の詳細を説明。

要望を受け、鶴間市長はインフラの維持管理、災害時の復旧対応における建設業界の重要性を認識を示し「今回の要望を協議していききたい」と述べ、各項目に対する回答を行った。

また、畑中議長は「今回、要望いただいた内容を協議していききたい」と述べ、各項目に対する回答を行った。

その後、巡視船内や訓練の様子などを各部署の担当職員による案内をうけ、船内を見学した。参加者からは「海上保安部の任務や重要性、普段見ることのできない巡視船内や訓練の様子などを見学でき、貴重な学びの機会になった」と感想が寄せられた。

「いしかり」内を見学する参加者

第39期議員改選

2号議員28人を選任

20日に1号議員選挙

当所では第39期議員改選にあたり、9月25日(木)から10月3日(金)までの期間に8つの部会で総会を開催し28人の2号議員が選任された。9月12日(金)には3号議員12人がすでに選任されており、今月20日(月)は1号議員を決める選挙が行われる。

2号議員は、業界を代りて設置されている8つの部会それぞれに人数が割り当てられ、合計28人別

掲の通り)が各部会総会にて選任された。

1号議員は全会員と特定商工業者による投票で選任される議員で、20日(月)午前9時から午後4時まで、道東経済センタービル5階の大会議室

で行われる選挙にて即日開票される。選挙は15日(水)までに届け出た立候補者から得票数が多い順に45人当選する

(立候補者は下記の通り・ホームページにも掲載中)。

1号議員選挙に関する投票券は今年度分の会費や特定商工業者負担金を納入した事業所のもとに届けられているが、未納

で行われる選挙にて即日開票される。選挙は15日(水)までに届け出た立候補者から得票数が多い順に45人当選する

の場において18日(土)午後5時までに当

所窓口で納入することで投票券がその場で発券さ

れる。

お問い合わせは、総務課0154(41)4141まで。

業界の課題改善求め

建設部会市・議会へ要望

「案内コーナー

北海道最低賃金1075円に改定

北海道内の事業場で働くすべての労働者(臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む)及びその使用者に適用される北海道最低賃金が4日(土)より「1075円」に改定されました。

第18回 小規模事業者持続化補助金のご案内

『小規模事業者持続化補助金』とは…
採択制の補助金で、経営環境の変化に対応し、持続的な経営に向けた経営計画に基づく販路開拓や、業務効率化(生産性向上)に要する経費の一部を支援する制度です。

◆第18回受付締切:2025年11月28日(金)17:00
※当所が発行する必要がある、事業支援計画書(様式4)の発行締切は11月18日(火)までとなります。発行には時間を要するためお早めにご相談ください。
・申請は電子申請のみとなっており、事前にGビズIDの取得が必要です。
※GビズIDの取得には時間を要する場合があります。

補助率: 2/3 (賃金引上げ特例のうち赤字事業者は3/4)
補助上限: 50万円 ☆インボイス特例: 50万円上乗せ
☆賃金引上げ特例: 150万円上乗せ
☆上記両特例対象事業者: 200万円上乗せ
対象経費例: 衛生向上や省スペース化のためのショーケース
生産販売拡大のための鍋・オープン・冷凍冷蔵庫 など
※上乗せはそれぞれの特例の条件を満たしている場合に限りです。

詳細や申請方法は右記QRよりご確認ください
なお、当所では補助金申請に対応した経営分析の手法や事業計画書の作り方を解説するセミナー開催しますのでご希望の方は下記までご連絡ください。

【お問合せ】 地域振興部:0154-41-4143



巡視船「いしかり」見学

女性会10月例会

女性会(迫田栄重会長)は女性の立場から商工業の発展・育成を図り、女性の社会的地位の向上を目的とし、経営に関わる研修会、要望活動、奉仕活動、広報活動などの事業を行っている。

今回は、1日(水)に10月例会として創路海上保安部の中型巡視船「いしかり」を見学し、11人が参加した。

当日は、室田英樹創路海上保安部長より、海上保安庁の成り立ちや創路海上保安部の業務について解説。主な業務として、創路港等の機能維持、遠

を協議していききたい」と述べ、各項目に対する回答を行った。

その後、鶴間市長や畑中議長と建設業界の現状や課題について意見交換を行った。

「いしかり」内を見学する参加者

女性会10月例会

女性会(迫田栄重会長)は女性の立場から商工業の発展・育成を図り、女性の社会的地位の向上を目的とし、経営に関わる研修会、要望活動、奉仕活動、広報活動などの事業を行っている。

今回は、1日(水)に10月例会として創路海上保安部の中型巡視船「いしかり」を見学し、11人が参加した。

当日は、室田英樹創路海上保安部長より、海上保安庁の成り立ちや創路海上保安部の業務について解説。主な業務として、創路港等の機能維持、遠